allcinema

告白（1970）

L’AVEU
THE CONFESSION［米］

メディア 映画
ジャンル ドラマ
製作国 フランス／イタリア
色彩 Color
時間 136分
初公開日 1971/03/04
公開情報 ＷＢ

【キャッチコピー】
人間の自由と尊厳がこれほどまで踏みにじられたことがあったか！鉄のカーテンに閉ざされた　〈真昼の暗黒〉＝＝人間の復権に挑んだ鬼才の問題作！

【解説】
　この作品は、５１年にチェコスロヴァキアで起こったスランスキー事件を体験した夫妻の共著『告白』を映画化したものだ。スランスキー事件とは、当時チェコ共産党の高官だったアルトゥール・ロンドンほか１４名が突然逮捕され、２２カ月間監禁拷問され、身に覚えのない反逆行為の“自白”を強要されたあげく、裁判によって断罪された事件である。妻リーズは、突然の夫の失踪に何とか安否を尋ね廻るが、全く解らなかった。やがて突然に職場を追われ、事件が公表されると、党の為に公式に夫を否定しなければならなくなる……。
　この急進的なスターリン主義者たちの策謀によって“自白”にサインした１１名は死刑、アルトゥールを含めわずか３名が死刑を免れ終身刑となった。アルトゥールの名誉が回復されたのは、４年後の５６年のことである。主人公の夫妻を実生活でも夫婦であるイヴ・モンタン（役名ではジェラール）とシモーヌ・シニョレが演じた。製作に当たっては“プラハの春”の時期にあたりチェコとの合作になる予定だったが、６８年に多くの映画人の亡命者を出したことでも知られる動乱で断念を余儀なくされ、映画のエピローグとしてソ連の軍事介入の痛烈な批判が付け加えられた。なお、スチル写真はクリス・マルケルが撮影。コスタ＝ガブラスの“伝統的な娯楽映画のテクニックを偽装し、利用しつつ、その政治性を大衆に到達させる試み”は、ここでも絶大な効果をあげている。

【クレジット】

監督	コンスタンタン・コスタ＝ガヴラス	Constantin Costa-Gavras
製作	ロベール・ドルフマン	Robert Dorfmann
	ベルトラン・ジャバル	
原作	アルトゥール・ロンドン	
	リーズ・ロンドン	
脚本	ホルヘ・センプラン	Jorge Semprun
撮影	ラウール・クタール	Raoul Coutard
出演	イヴ・モンタン	Yves Montand
	シモーヌ・シニョレ	Simone Signoret
	ガブリエル・フェルゼッティ	Gabriele Ferzetti
	ミシェル・ヴィトルド	Michel Vitold
	ウンベルト・ラオ	Umberto Raho
	アントワーヌ・ビテ	
	クロード・ヴェルニエール	Claude Vernier

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。　Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.

モーリス・ジャックモン
モンコル・ビエール
ジョルジュ・オーベール　　Georges Aubert

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。　　Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.